

北京城新報

ずらかへぐ急し如がく行を道き遠てふ負を荷き重は生一の人

俳句と美學

先に子規翁がハバトマンの美術を研究して
又來朝翁雪嶺が俳句は美であるべしといふ
と主唱するものも美術上から言ふので決て
自分勝手の考ではない、そこで美として
々に愉快と興へるものであるが愉快は美
々と混然たれては困る、則ち俳句は人々
に悦ばれては困る、最も高尚なもので彼
愉快と興へるもので最も高尚なものでは
ない、彫刻を見て成す愉快又俳句を讀で

知堂

成のにで吾しいれ
 人に嫌かんか胸のなやみに射る矢の恐しさ
 よと暗の吹風に包まれて堤の上をとははく
 と縁の響を携ひつゝ廻り行くはこるびく
 の響の嵐雨に苦しめられ行くも驚もなげか
 して此のなみ果つべき身の因果……

法學志林
 法政大學創立三十周年の紀念
 として有名な法律家松本清之助の遺稿を編輯した

(新刊紹介)

てゐる見ると四丁格好のデブツリした男が、
五何だ、何者か来たや、三何だ人の座敷
へ入つて、キョロキョロしてやつて、
昔様は何者ぞね、此動物物ヰツツ、多賀四郎兵衛
衛意いた、動物物ほりだ、三何物ぞね、さ
う人の座敷へ入つて来やがつて、手前何者
ぞ、四佐倉の堀田上野介方見廻りの者
だ、五、然うか、そんなら耐うと早く云ひ
ね、エ、オホ、俺ア下谷坂本町一丁目目井
なりキバ、云つてくんな、ヨウ、別に怪し

する愉快も皆美なるものであると思つて、
だいたひ然れども之に實感と起す様な
や彫刻・俳句などは美といふものには無
き術を畫いて鳥が喋り機な雪が美と現は
たものと思はれては困る。此の如き畫と
樂びながら寶物を見て樂む方が宜い吾
は實物を以て満足するならば何も美術等
ける用は無い、美術として盡く美術とし
るゝ美術にして歌ふで始めて美を感ずる
である、故に美は全々形と離れて存在
もので無くれば又作爲し得るものでな
い、唯形と離れて工作し得るやうに思は
れるのは善さか惡さか精神上の行爲でも
がこれとて形を外れては全然美としても
美術として現はし得ないのである例へば
四海君が春秋を現はす爲めに女子の顔
にて現はし、又ギリシヤ人が苦心を現
爲に人体をかりてラーコンの像を現は
茲に美は始めて美術として完成するので
、故に美は形と離れてはいないので、形
離れて美があるやうに思ふのは善を見
と思ひ誤るのである。

[illegible]

上野三十六
前屋五郎兵衛

地のこり
踏込んで
宜いと思ふ

何處へ
た前達な
か

村子
コニ、土
百姓
ばかり相
手

巻欣
正ん
を云つて
踏

込むやうに
置

町い
から
座敷へ
踏込
むなら、踏

合つた
人入として
ある者だ
れ前達ア
役人でもし
てゐるんだ
から、人の
座敷へ踏込
むなら、踏

坊の内へ御
入をとして
ある者だ
れ前達ア
役人でもし
てゐるんだ
から、人の
座敷へ踏込
むなら、踏

元祿の芭蕉でも天明の蘇村でも又明治
規でも皆形を外れて句を作つては居ら
るの古拙とか云へば誰でも知つて居る
から茲に評するまでも無いが、
稻妻や閑の方行く五位の聲。芭蕉
といふ句を讀んで芭蕉の技術に敬服さ
と得ない翁は此の十七字詩でグライアン
ス水鳥を思ひ出すは十句詩で此くま
ライムな大辭を作り得るとは實に世界
詩人として誇るべきものでは無いかな
の句が自然のものまで何等の工作も
何等の苦心も見えず句調好く讀まじ
所に注意を顯ひたい

のつ子
 後水
 今
 無
 のさ
 ら
 ら
 大
 此
 無
 居
 居

物係
 小田氏の教科書と教育」は本號
 藏物なり(三 東京城教育會)

上

佐倉宗吾

(七十七) 眞龍齋貞水講演

そこで宗吾は源兵衛の申した通り機を
 を降ろさる。成程初目と初目の間を通つ

のか知らねわ
 が、些々ア
 考へて事を
 しろ、佐倉
 ちや堀田様
 るれわか知
 らねぬが、
 俺フ達ハ、
 上野へ出入
 をしてゐる
 者で、此度
 常陸の龍ヶ
 崎から廻つ
 て來たんだ



佐倉宗吾

(七十七) 眞龍齋貞水講演

宗吾は源兵衛の申しました通り梯

子
崎から廻つて来たんだ



土管瓦煉瓦

廣 告

料理

電話七百二十九番

出前仕候

土管 陶業商店の販賣する土管は模範的工勢に於て最新米國式
機械を以てし知名技師の注意周到なる監督の許に精製され
られたる最良品なり

瓦 陶業商店の販賣する瓦は同工場最新米國式機械製品に
て酷寒耐久には重き注意を加へられたる最良品なり

煉瓦 陶業商店の販賣する煉瓦は同工場最新米國式機械精製
にして他に卓越せるは當販賣元の最も誇とする良品なり

右特約一手販賣仕候間多少に不拘御用命奉願候

陶磁器卸小賣
官製煙草元賣捌
土管瓦煉瓦販賣元

京城本町二丁目
陶榮商
電話百十三番

本書には統監府軍司令部師團司令部各
理事廳鐵道管理局通信管理局各民團各
商業會議所及び韓國政府中央地方諸官衙
各國領事館職員錄を併載
致致

京城理事廳認可

朝鮮紳士錄

豫
發行所
東京
城西
小門
新報
韓社
書房
堂

登載事項

送本
期日
申達
縮切
期日

預約特價前金壹部

金五圓

六月十五日

政治家、軍人、官吏、經濟財政家、實業家、宗教家、美術家、醫師、辯論士、教育者、社會學者、學者、僧侶、俱樂部、社會

總クローヌス金文字入

約申込所
新王城洞
北署安洞
中署廣橋東邊
中署罷朝橋越邊
南大門通

本紳士錄(交詢社式)には韓國各地在住
の韓日清英米佛獨其他紳士の全体を網羅
致候へば公私實務者の坐右に欠くべ
からざる要書に有之候

卸小賣

ト・シヤンピン
ウ井スキー
クリンビー
ル・タンサン
水

ブドウ酒
ブランデー
洋菓
菓子
菓物カン詰類
飲料食品類
金銀珠寶品

歌米雜貨
海味食料品
茶葉草藥類

直輸入商

迁屋

本店 電話二四八番
支店 電話三六六番

允為り徳商店

せざる可らざる也。

日韓瓦斯と道路

日韓瓦斯會社が瓦斯管沈設の爲に我民間の道路を使用するに就て相當の使用料を徴するは不可免義務なり、會社に當斷と民衆理應者の言論とが不幸にして出合へる場合に於ては寧ろ第三者に聞て甚だ面倒と爲すべし。

冊

に達せざる可らず。
熱くと思ふに代議政體を創始以來各國に於ても代議士の不完全に乘じて買収の誘惑に掛りたるもの夥しとせず、憲政國の模範とまで云はるゝ英國に於ても、米國の他國の諸國に於ても決して代議士の收賄は皆無其他とて云ふべからざる、苟も人民

○小亞細亞虐殺 六日までに小亞細亞アナタ州に於て薩比二萬三千人の基督教徒虐殺せられて土耳其官憲は立派なる約

○外報一束
(以上十二日發)

府縣立の高等女學校も同時に設立したるに當りては、

官閑泳詔氏は一昨日午前德壽

等しからずや。唯列國の前に愧つべく亦列國より失はるべきは收税則正の取つた金額の餘りに微小なる事也。嚴正なる意圖に於ては一金も百萬金も同一なりと雖も若し日本帝國の立法部に關する人が如何に安く寛大したるに對するに貧乏なるか世界に對して恥ぢたるを感ずるを得ず。列國政府は基金を

せんことを求め英露協約を毀損するの態度に出でつゝあるを悲しむ。

總稅務司ゴロバート、ハート氏は清國政府に歸任を求められし向之に應ずべきや否やは未定なり。

諸報、歸某中なる清國政府は基金を

清國政府は基金を

部台上到底豫期の開庭を見る能
百十ク所丈開庭する筈なりと尙

○賊匪討伐業報 ○羅南道康一分遣機手
官兵率同憲兵連合提督兼守備隊一下士一
上等兵九補助員二十七及豐慶守備隊一下士一
以下六は四月二十九日奉命北方向三連の
地に於て賊百五十と衝突五を殲し統一を捕
下士一上等兵七補助員廿は四月二十九

三分の一を受持ち匪徒横行不

知識多きを信託院に真心謝意を表す
 六萬株無配當付
 拓殖株式會社、前夜高等に如何なる理由
 により、六萬株政府の特株六萬に對し利益を
 當を爲さざることに決定したるは、既報
 するが如く、聞くところによれば、轉政府の
 べきに株式邊會に「株式登記」を代表者
 に於て百二十五萬一千九百十六株、此金額三
 萬一千二百九十七圓余にして引上開始以降
 の業績は一八四萬三千五百三十二株、此金額
 一十八萬八千八百五十一圓余、空白銅貨
 は三億七千五百二十八萬〇九百五十二株、
 金額一千八百七十六萬四千〇四十七圓余な
 り、
 示來出

逕査一時金支給規程案は法令を輕く目下閣議に上り居る由

●東籍田の永遠保存
門外なる東籍田は韓官置きと勤農の主
以て親耕せる東籍田に在り、故に永
は韓氏の産業獎勵に至大の關係を有
す。内閣會議を経て農商會中より金六百四
圓を支出し農商工部に於て之を管理
せしむることとなりし。

從來警察官が戸口を調査するを韓人中には
住戸口税増徴の標榜を定むるものと誤念を
抱けし者ありしが、過般來戸口調査の着手
に先、方面人民に對し其趣旨を懇切に宣示
し、結果地方長官の了解を得たりとす。

●近地警察の聯絡
現時に於ける地方の警察署は其配置不十分

一、
二、
三、
四、

罪の捜査、警察部内の状況、
一般警察事務に敏活を缺くを

したる由報告の體裁は松、横山赤嶺、
シツ等々にて各、編輯、反駁、に大
平、五十町、を、開、三、町、歩、京、城、附、近、百
町、歩、合計、二百五十町、歩、なり

本年開庭裁判所
開庭裁判所の數は廿二所となるが、
に於ては尚七十八ヶ所の區裁判所を
配人の意見と懸念せらる

兩相の関泳詔訪問
李宰相、関宰相が十一日、中部、機關、なる、水、候、
官、関、詔、を、訪、ひ、日本、觀、光、に、對、する、民、の、意、見、
を、聽、問、する、處、あり、と、い、ふ、

野
關
有
開
本
年
の
收
入

北韓文川郡に於ける凶作地

湖南約一里半。地に於て賊約五十名。所突し五月一日同地西北約四里の地に於て賊五
 十名を破す。江蘇之浦東兵分遣所上等兵一所突之。兵一處定。賊首仇楚龍等分遣所下
 補助員二は五月四日同地東南約三里半の地一上等兵一補助員四及巡査二は四月二十三
 日於て賊一四と衝突す。兵一處を破し銃二を奪ひ同日地東北六里の地に於て賊七と衝突之を
 破す。貴州白川分遣所巡査兵一補助員三は逃走せしむ。威寧高山分遣所上等兵一補助員

田にて韓人李德用の名義を以て

同八月廿九日は九月を以て工事完成と増加したと云ふ。

●米穀類の相場 米穀類に於ける相場は出穀増大なく一ヶ月前に於ける市價は各品とも昇進せる爲め新嘉坡市場も存外好況にして米六圓、大豆三圓六十錢、小豆四圓四十錢、小麥七圓といへる相續なり。

▲東京 米は一寸

▲白石 米は一寸

▲石田 米は一寸

▲廣澤 米は一寸

▲米穀類の相場 米穀類に於ける相場は出穀増大なく一ヶ月前に於ける市價は各品とも昇進せる爲め新嘉坡市場も存外好況にして米六圓、大豆三圓六十錢、小豆四圓四十錢、小麥七圓といへる相續なり。

▲東京 米は一寸

▲白石 米は一寸

▲石田 米は一寸

▲廣澤 米は一寸

報因三浪津尾原巡査外四名

[illegible]

可谷面九九一、二一九坪セ、エ
ス▲黒鉛忠北沃川郡西面二七

[illegible]

ひ事能はざるべし吾等は十六日

は五月六日同地西南約八里の處に於て
忠清南道洪州警察署跡調査五月一日青
内に於て隊十五と衝突其二を擧り一を
刀一と擧げす

上學博士 十一日入京巴城
輪電船所技師 一同
神戸建築所技師 一同
上

民は利益に據て行動し官吏は職
りて行動すべしと云ふ或は
に於ては利に走る官更多き傾向
を可らずと暗々裡に痛澤を加ふ
りし副統盛は病で癒し立て戸外
倒す此事は最も秘密に附する所
機要のみ果ては期する事實あり

私立學校設立願を申請するもの
は十八校に及ぶと云ふ驚く可き也
向題に就ては印度でも比律賓でも
大に手を擧げつゝあり然し可し
受けたる土人等は概して獨立を
欲しずして平和を望みせんとする
に於ても大に先鞭に注意せざれば

100

